



乳幼児健診



離乳食教室



相野谷診療所

プランの見直しを行うことで、妊産婦に寄り添ったきめ細かい支援を目指します。

また、従来から行っており、妊婦健康診査の助成、不妊治療の助成、産後ケア事業、乳幼児健診、発達支援が必要な子どもへの対応等、安心して子供を産み育てることが出来るよう、ライフステージごとに切れ目のない母子保健サービスを推進してまいります。

◆相野谷診療所

相野谷診療所につきましては、事業所検診や生活習慣病予防検診、がん検診などの各種検診業務について、引き続き行政・関係機関と連携を図り、事

業を行ってまいります。

また、地域医療につきましても、地域ニーズを把握し包括的に地域の実情に合わせて、事業の推進を図ってまいります。

◆農業関係

農業関係を取り巻く状況として、TPPについては、米国の離脱表明により協定発効の先行きが不透明な状況となっております。

本町といたしましても、水稲や柑橘類など大きく左右される分野もあり、今後の米国の動向や国の農業施策に対する考え方に注視し、関係機関との連携・情報共有を密にし、農業振興を図ってまいります。

また、水道施設の整備を地区から要望を頂いていたところであり、

◆水産振興

また、昨年5月の森林法改正に伴い、平成30年度末までに林地台帳を整備することが法制化されました。境界が不明確な山林や所有者が不明な山林が近年急増し、林業施策に支障をきたしていることから、本町におきまして、平成29年度から台帳整備に着手してまいります。

◆県営中山間地域総合整備事業

県営中山間地域総合整備事業につきましては、平成29年度から「県営中山間地域総合整備事業 紀宝中部2期地区」に着手してまいります。

本事業では桐原地区の念願でありました営農飲雑用水施設を初め、老朽化した頭首工等の農業施設や集落道路等の整備・改修等を実施し、農業・農村の活性化を図ってまいります。

桐原地区の水道水は、谷川の上流部から取水をし、滅菌処理等を行わずに生活用水として利用している状況であり、渇水時の水不足、大雨時の濁水等に悩まされており、早急



◆道路事業

本町における高規格幹線道路は、平成25年度に「一般国道42号新宮紀宝道路」が事業化され、平成27年6月7日に新宮紀宝道路事業着手式が開催されました。平成28年度には、用地幅杭打設、および家

業を行ってまいります。

◆獣害対策

獣害対策につきましては、猟友会会員および地域住民、関係者等の皆様と対話を行いながら、獣害対策に対する地域での連携・理解を深め、侵入防止柵の設置や有害鳥獣捕獲に対する事業を進めているところであります。

平成29年度におきましても、国や県による補助事業を活用するとともに、補助事業の対象とならない農地については、町単独事業による侵入防止柵補助や、動物追い払い用煙火の利用普及に向けた取り組みを行ってまいります。

また、三重・和歌山両県の関係7市町村で構成する「近畿自動車道紀勢線(熊野市・新宮市間)建設促進期成同盟会」におきましても、近畿自動車道紀勢線(新宮・熊野間)の未事業化区間を早期に新規事業化すること、

「一般国道42号新宮紀宝道路」を早期に工事着手すること、道路関係予算を増額することなどを

また、三重・和歌山両県の関係7市町村で構成する「近畿自動車道紀勢線(熊野市・新宮市間)建設促進期成同盟会」におきましても、近畿自動車道紀勢線(新宮・熊野間)の未事業化区間を早期に新規事業化すること、

◆教育関係

教育関係につきましては、平成27年4月、地方教育行政の組織および運営に関する法律の改正に伴う、教育委員会制度改革がスタートいたしました。本

◆林業振興

林業振興につきましては、平成29年度におきましても、紀宝町の自然の魅力を再発見する場として、講演会、体験講座等の開催、県産材を活用した防災倉庫施設の整備、自伐林家への木質バイオマス発電用の間伐材搬出の補助、公共施設の周辺緑地や生活道の支障木・危険木の伐採等を実施してまいります。

さらに、昨年に引き続き、空き家解体撤去に係る費用の助成、熊野材を使用した木造住宅を建築しようとする者に対して助成を行い、住宅環境の向上を図り、木材の需要拡大および建築関連産業の活性化を進めてまいります。



七里御浜防風林GG作戦



新宮紀宝道路事業着手式(平成27年6月7日)